

平成24年度「地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト」
調査研究事業 採択案件一覧

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
1	小樽商工会議所 (北海道)	【後志(しりべし)の未利用果実を活用した新製品・新商品開発プロジェクト】 小樽経済を支える製造・加工業と北海道の果樹生産地として優位性のある余市町・仁木町の未利用果実を融合させ、健康・美容の観点を取り入れた高付加価値製品・商品を開発し、消費拡大・認知度向上と生産農家の事業安定および市内製造加工業の雇用増を図る。
2	旭川商工会議所 (北海道)	【大雪山のスローライフプロジェクト】 「大雪山のスローライフ」をコンセプトとして、食卓を中心とした商品群のブランド構築事業を実施する。旭川地域のイメージを伝えるブランド構築と商品開発により、食品、工芸品の付加価値を向上させる。
3	滝川商工会議所 (北海道)	【肥沃な大地がギュッと詰まったシードル&キッシュ&ガレット事業】 商工会議所が中心となり生産者、加工業者、飲食店、行政などが協力し、北の大河石狩川沿いの肥沃な大地で育った滝川の野菜や果樹などを活用した新たな特産品開発を目指し、農商工連携を通じた調査研究を行う。
4	稚内商工会議所 (北海道)	【映画「北のカナリアたち」を活用した誘客調査事業】 稚内市をはじめとする周辺町村の観光客の入込が減少し、地域経済に影響を及ぼしている。そうした中、東映映画「北のカナリアたち」のクランクインを好機と捉え、周辺町村と連携しロケ地効果を活用した観光ルートの確立により地域経済の活性化を志向する。
5	長井商工会議所 (山形県)	【馬肉×行者菜×米粉の新商品開発とまち歩き観光との連動】 平成18年度から推進している地域資源を活かした「まち歩き観光」を、特色ある「食」を付加し観光産業へと昇華させるため、まち歩き観光での定番メニュー化を狙った特産品開発を実施する。
6	須賀川商工会議所 (福島県)	【震災復興観光に関する調査研究事業】 東日本大震災での経験知をリスクマネジメントの視点を加えて多角的に活用し、「震災復興観光」という新たな観光の可能性を探る。地域活性化の新たな手段として地域の産業振興への寄与、消費拡大を目指す。
7	燕商工会議所 (新潟県)	【自動車・家電部品サプライヤーによる自社商品の開発】 円高・震災等の影響で受注が激減している自動車や家電のサプライヤーが自社製品を開発する。アッシュコンセプトのデザイナーに燕の工場を見てもらい、どのような商品が開発できるか調査・提案してもらう。
8	糸魚川商工会議所 (新潟県)	【「ヒーリングスポット・ヒスイの聖地 糸魚川」プロジェクト】 ヒスイの産地・糸魚川における、その効能やイメージを活用した観光開発・特産品開発。
9	珠洲商工会議所 (石川県)	【芸術から世界農業遺産を表現する新しい観光事業に向けた調査】 能登の里山里海を、内外の著名な芸術家・表現者が表現することで能登のイメージ作りを行う。また、それを受けて全国から芸術をテーマに活動している様々な団体などが能登を訪れ、描き・詠み・創ることで新たな体験観光を創造することを目標に基礎データを整える。
10	上田商工会議所 (長野県)	【新しい上田観光スタイル確立のための情報接触調査事業】 「観光客の皆様が新しい上田の観光を作っている！」という観点に立ち、観光客の、上田の観光に対する意識・動向について広くアンケート調査を行い、次年度以降の事業展開を検討する。

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
11	諏訪商工会議所 (長野県)	【自然と工業技術の融合による自転車開発プロジェクト】 自然に優しい諏訪でしか乗ることのできないオリジナルモデルの自転車を開発し、マーケットニーズを調査することで、関連グッズや新サービスにも発展させ、自転車ファンが集う自転車産業集積地を目指す。
12	伊那商工会議所 (長野県)	【雑穀伊那地域アマランサスを活用した新製品開発プロジェクト事業】 伊那地域では、増加する遊休農地対策としてアマランサスを植えて花の谷を目指す市民運動が始まり、栽培が盛んとなった。この実を地域資源として活用して地域振興を図ろうと市民や各種事業者、信州大学等と当所の連携がスタート。
13	佐久商工会議所 (長野県)	【佐久こだわりの逸品でつくる高級土産商品開発】 高級・本物志向のお客を満足させる土産品を、季節性の高いこだわりの農産物の通年利用の研究や地場産品との組み合わせなどにより、パッケージングを含め検討・試作し、「佐久ブランド」の構築を目指す。
14	佐野商工会議所 (栃木県)	【佐野の歴史的・文化的資源を活用したニューツーリズムプロジェクト】 日本初の公害事件として名高い足尾銅毒事件に挑み、環境保護運動に努めた田中正造生誕の地として、没後100年を迎えることから、その業績や地域の歴史的・文化的資源を組み合わせ新たなプログラムと着地型観光の推進を図る。
15	桐生商工会議所 (群馬県)	【技と芸術が織成す生活空間「Room of KIRYU」開発事業】 繊維技術とデザイン感性をマッチングさせた商品をコーディネートすることで「部屋(Room of KIRYU)」という生活空間を創造し、桐生独自のライフスタイルの提案と繊維産業のリーディングモデルを見出す。
16	館林商工会議所 (群馬県)	【ボイセンベリーを活用した新商品開発モデル事業】 地域農家が栽培したボイセンベリー素材を使った新たな地域特産品を開発し、農産物の生産・加工・販売に係る地域の農商工連携モデル事業の構築と館林ブランドの確立を図るための調査研究を行う。
17	川口商工会議所 (埼玉県)	【川口「竹(たけ)・技(わざ)」魅力創出プロジェクト】 産業都市としての基盤を守りブランド力を高めるため、川口市の代表的地場産業である「川口和竿(竹釣竿)」の新たな魅力創出を通じて、川口市のイメージ向上と釣竿工業の再生を図る。
18	横須賀商工会議所 (神奈川県)	【「すかたび」パッケージ開発プロジェクト】 農業、商業・サービス業、工業に係るやる気のある事業者の観光・レジャー分野への参入機会の創造による販路拡大・新商品開発に取り組む好循環を作り出す。
19	小田原箱根商工会議所 (神奈川県)	【「小田原スイーツ プレミアム」ブランド商品開発の調査研究事業】 小田原の新たな魅力の創出を目的に、農業資源(果物・野菜など)を実力のあるパティシエや工芸品と組み合わせ付加価値のあるスイーツについて研究・開発を行い、地域資源の多様化を図る。
20	静岡商工会議所 (静岡県)	【家康公が築いたブランドを取戻す「余ハ此處ニ居ル」プロジェクト】 静岡市には元来、家康公により強いブランド力が存在した。この事実を再認識するため、家康公のお叱りを想定した言葉「余ハ此處ニ居ル」をテーマに、静岡市のブランド力を回復するための調査研究を行うプロジェクト。
21	浜松商工会議所 (静岡県)	【遠州綿織物ニューツーリズム調査研究プロジェクト】 綿素材の開発や注染ぞめなど、職人技が光る浜松産地巡りが、首都圏や県外の顧客・顧客予備軍向けの着地型観光商品になりうる可能性を秘めているか調査研究を行う。

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
22	下田商工会議所 (静岡県)	【写真の祖 蓮杖プロジェクト“黒船来航から文明開化まで”】 下田市の偉人である営業写真の開祖「下岡蓮杖翁」の足跡を調査研究し、その偉業を全国に発信。下田市の歴史遺産と併せて観光客増加のための観光資源の発掘を目的に、調査研究事業を実施する。
23	袋井商工会議所 (静岡県)	【袋井のクラウンメロンをベースにしたスポーツ健康飲料】 袋井市特産品の高級マスクメロンにGABAが多く含まれている点に注目し、産学官連携による活性化水素水技術等を組合せ、新たなご当地飲料の開発を目指す。
24	高山商工会議所 (岐阜県)	【飛騨高山「飛騨の匠」ブランド開発事業】 「飛騨の匠」がもたらした飛騨高山の文化を見直し、埋もれている観光資源や新たな観光資源の発掘・整理をし、物語性のある着地型観光の開発に向けて準備を進める。
25	蒲郡商工会議所 (愛知県)	【6次産業化活動を通じて地域を活性化！蒲郡ご当地グルメ開発事業】 “食”“観光(個性豊かな地域色)”と両方の素材に恵まれた海辺の観光都市“蒲郡”において、新たな観光客誘致の起爆剤となる6次産業化活動による「ご当地グルメの開発」を通じた地域活性化に取り組む。
26	大府商工会議所 (愛知県)	【ウェルネスバレー構想と連携した健康逸品と着地型観光の調査研究事業】 健康都市大府にふさわしい健康逸品開発と着地型観光の調査・研究。
27	伊勢商工会議所 (三重県)	【絆・感謝から発見するおかげの国周遊コース調査事業】 日常の大切さや他者とのつながりが見直されている今、「つながり」「気づき」「心の安定」が満たされるような旅を実現するため、伊勢神宮125社鎮座の地ならではの地域の魅力を調査し、物語性の高い旅のルートを研究する。
28	松阪商工会議所 (三重県)	【松阪牛・松阪豚・松阪の鶏を活かした特産品開発と新顧客獲得】 松阪市を代表する松阪牛のブランド力を活かし、松阪牛の未活用部位、松阪豚の未利用部位、松阪の鶏などを活用した特産品の開発、調査、研究を行い、「旨い肉の宝庫 松阪」のイメージ構築と新たな顧客層開拓を目指すプロジェクト。
29	亀山商工会議所 (三重県)	【「亀山のローソク」新特産品開発プロジェクト】 亀山ならではの新たな特産品開発ならびに観光開発の調査研究を行い、将来的に地域経済への波及効果を狙う。
30	尾鷲商工会議所 (三重県)	【「道の駅おわせ(仮称)」を核とする尾鷲市周遊プランづくり】 高速道路開通を機に建設が予定される道の駅おわせ(仮称)の利用者を市内へと誘客し、市内に散在する資源を活用した周遊プランにより市内周遊・滞在につなげ、観光交流人口の増加を図る。
31	熊野商工会議所 (三重県)	【熊野ブランドプロモーション事業】 伝統産業である漁業の低迷等、厳しい環境にある本市において、豊富な地域資源を活かした、新たなブランド価値の高い商品を創出する。2次・3次産業をも巻き込む取り組みとすることで、幅広い経済活動の波及を創造する。
32	田辺商工会議所 (和歌山県)	【南紀田辺のミカンスイーツ開発】 当地が全国有数のミカン産地でありながらそのイメージがあまりないことから、年中収穫できる特徴を最大限に活かし、地域性があるおかつ良質なスイーツ商品と関連のサービスの開発により、産地としてのブランドイメージの確立を目的とする。

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
33	橋本商工会議所 (和歌山県)	【神・自然・雅・賑わいが出会う御幸辻食旅の里プロジェクト】 京奈和自動車道橋本ICから延伸予定の新国道沿いに「御幸辻食旅の里」を整備し、地域産品を6次産業視点で捉え、市内の飲食や体験施設への着地型観光のハブ機能をもたせ、消費力旺盛な消費者を吸引する。
34	山口商工会議所 (山口県)	【「岩国錦帯橋空港」開港に向けた山口県広域観光ルート開発事業】 平成24年度に開港した「岩国錦帯橋空港」と山口県内および近隣の空港とを合わせ3空港での羽田便運行を活用し、首都圏からの観光客拡大を目指し、観光資源調査研究およびストーリー性のある着地型旅行商品の開発をする。
35	防府商工会議所 (山口県)	【防府ホワイトの魅力～ホワイトアスパラで美肌づくり】 広い平野を活かした製造業(マツダ)主体の街から、観光交流人口増大による賑わいのある農商工連携都市を目指すため、アスパラを活かし、女性をターゲットにした新たな商品・メニュー開発を進める。
36	西条商工会議所 (愛媛県)	【西日本最高峰「石鎚山」～「つなぐ」「繋がる」くさりプロジェクト】 西条市には西日本最高峰「石鎚山」があるが、観光客数は伸びていない。その要因は季節性イベントによるものが大半であることが挙げられる。年間を通じて訴求効果のあるものの調査研究を行い、観光客数の増加、さらには現地消費の拡大を目指す。
37	八女商工会議所 (福岡県)	【野生鳥獣の肉を利用した「ジビエ料理」の開発・普及】 中山間地域の自然環境保護のため多分野から成る「ジビエ料理開発会議」を設置し、①猪肉の流通体制の整備、②作った「ジビエ料理」の評価、③「ジビエ料理」の八女ブランド化の3本柱で推進する。

平成24年度「地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト」
 本体事業1年目 採択案件一覧

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
1	小樽商工会議所 (北海道)	【小樽の歴史的建造物を活用した新観光創出事業】 小樽が誇る歴史的建造物を活用し能舞台やアート・プロジェクト等を実施するとともに、歴史的建造物探訪ツアーの開発、建造物等を紹介するガイドブックのPRを通じて、観光都市としての魅力を高め、時間消費・滞在型観光を創出。
2	札幌商工会議所 (北海道)	【「ホワイトコスメ・エステ」による地域資源活用・地域活性化プロジェクト】 平成23年度の調査研究事業の結果をもとに、北海道産素材を活用したホワイトコスメ・エステを観光の誘客素材として、地域におけるコスメ・エステ業界の振興を図るとともに、観光誘客を促進する。
3	網走商工会議所 (北海道)	【網走旬ツーリズム創出プロジェクト】 昨年度実施した調査研究事業から得られた結果を反映し、網走旬ツーリズム各種コースメニューのモニター調査とその検証結果から新たなメニュー開発を行う。また、広報手段の確立と継続的な運営のために網走旬ツーリズム事業体の設立を目指す。
4	美唄商工会議所 (北海道)	【まるまるびばい・魅力まるごと売り込みプロジェクト】 健康、ヘルシーを視点に美唄の特産品である米粉を使った商品開発を目指す。開発にあたっては、消費者の趣向を調査し、商品の成分分析も行い売りを明確にする。開発商品を基に、地域活性化および農商工連携の更なる取組みにつなげていくことを目指す。
5	弘前商工会議所 (青森)	【JAPANプレミアム「弘前りんご」ブランド構築プロジェクト】 弘前市は、全国一のりんご収穫量(全国シェア21%)であり、135年の栽培歴史を誇る。食の安全安心が求められている今、無農薬・無肥料化を目指した1次産品を活用した、農商工連携による高付加価値な6次産業化をアクティブ・トレーサビリティで目指す。
6	花巻商工会議所 (岩手県)	【雑穀等穀類の活用による観光客をターゲットとした料理・土産物開発】 年間約200万人の観光客をターゲットに、料理並びに土産物を開発する。
7	横手商工会議所 (秋田県)	【世界文化遺産平泉のルーツ「後三年合戦」歴史探訪ツアー】 平泉を中心とした藤原三代の栄華を築く契機となった「後三年の合戦」をテーマに歴史探訪型ツアーを実施し、通年型観光および滞在型観光の実現性を検証、年間観光客数450万人を目指す。
8	酒田商工会議所 (山形県)	【「傘福」「食」「まちあるき」による着地型観光開発プロジェクト】 1. 地域資源を活用した企画商品のモニターツアーを通じたブラッシュアップ 2. 着地型旅行商品の実施主体の確立 3. 着地型観光旅行商品および傘福の情報発信
9	上越商工会議所 (新潟県)	【戦国・江戸時代が見える上越市、着地型観光ルート商品造成事業】 平成23年度に調査研究した地域資源を基に、戦国時代が見える「春日山エリア」と、江戸時代から歴史を残す「高田エリア」を役割分担しながら、2拠点の着地型観光ルートの商品化と持続的に経済効果を楽しめる仕組みづくりを目指す。
10	黒部商工会議所 (富山県)	【「黒部のおくりもの」開発・販売プロジェクト】 黒部峡谷、生地の水産、湧水を活かし「黒部の物語」を織り込んだ観光お土産品の開発を行い、平成27年3月の北陸新幹線開業をチャンスに「黒部のおくりもの」を販売を目指す。

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
11	小松商工会議所 (石川県)	【地域ぐるみ・地域力総活用、新名産・名品創出と食の祭典創出事業】 農商工連携で農産物等地域資源を活用した新名産・名品の創出と、前年度策定した地域カアピールの食の祭典や展示商談会等への出展により、商品等の評価を得て、商品開発力向上と市外・県外へ向けての販路開拓・消費拡大の基盤形成を図る。
12	七尾商工会議所 (石川県)	【「すし王国能登七尾」と七尾の観光資源のコラボによる情報発信事業】 昨年度に実施した調査研究事業をふまえ、「すし王国能登七尾」の食ブランドの首都圏への情報発信を強化し、和倉温泉や一本杉通りの「花嫁のれん」等と連携し、北陸新幹線開業効果による交流人口の増加を七尾へ波及させるためのPR 作戦を展開する。
13	上田商工会議所 (長野県)	【カイコと繭と紬のまち、上田地域伝統産業活性化プロジェクト事業】 伝統産業を先端技術でリニューアルし、新たなビジネススキームを構築する。
14	松本商工会議所 (長野県)	【EVを活用した新たな観光モデル推進事業】 松本市は松本駅を中心に西に上高地・乗鞍高原、東に美ヶ原高原を有する全国でも有数の山岳観光地である。そこで、「エコツーリズムと着地型観光」を推進するため、新たな交通手段と観光ツールとしてEV(電気自動車)を活用した観光モデルを展開する。
15	岡谷商工会議所 (長野県)	【医聖永田徳本先生に学ぶ新しい健康産業「徳本草のまち岡谷」】 医聖永田徳本先生が世のため人のために生き抜いた混迷の戦国時代。薬草の大家でありながら、伝承に纏わるその人柄を学ぶことにより、岡谷から新たな健康産業(薬草による6次産業)を展開し、産業の活性化・雇用の創出を目指す。
16	下諏訪商工会議所 (長野県)	【中山道下諏訪宿「神宿る下諏訪温泉」漫遊記】 平成23年度の調査研究事業の結果を基に、滞在時間の延長と宿泊者数の増加を目指し、事業者主体の事業実施に結びつけ地域の活性化に繋げる。
17	飯山商工会議所 (長野県)	【峠の合戦食開発プロジェクト事業】 飯山の歴史文化が育んだ富倉そばや笹ずしを地域資源として、北陸新幹線飯山駅開業に向けお土産やお弁当での活用を行い、併せて飯山駅を拠点とした広域観光プランの提案を行う。さらに首都圏との戦略的交流により地域全体の経済の底上げを図る。
18	鹿沼商工会議所 (栃木県)	【傷・規格外等の農産物を用いた高付加価値食品の開発】 鹿沼商工会議所青年部で開発してきた「にっこり梨」を用いた加工食品の高付加価値食品化と販路を構築するため、様々な「食」に関する展示会や商談会等への出展などを展開していく。
19	大田原商工会議所 (栃木県)	【大田原とうがらし逸品グルメ開発事業】 とうがらしの郷大田原のシンボリックな商品開発。「呼ぶ」から「探す」への転換を図る。全国の辛いものファンのもとへ…。
20	秩父商工会議所 (埼玉)	【織物のまち“知知夫”が復活～繊維産業の付加価値向上プロジェクト～】 産地ブランドの構築による消費者向け高付加価値販売チャネルの開拓および産業観光の仕組みづくりのため、試作品開発や展示会でのテストマーケティング、工場見学、染め体験などを組み合わせたモニターツアー等を行う。
21	草加商工会議所 (埼玉)	【埼玉産エコレザーと革職人の技が実現する「レザータウンSOKA」】 当地域は、「素材から製品加工まで」を地域内で一貫して製造できる全国的にも珍しい皮革のメッカである。革職人の技と、埼玉産の原皮からつくる高級革素材「エコレザー」の双方にスポットをあて、「レザータウンSOKA」の構築に向けて取り組む。

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
22	青梅商工会議所 (東京都)	【「集まれ愛犬家！」みたけ山「おいぬさま」活性化プロジェクト】 ペット同伴来訪者をターゲットに据え、ニーズに合わせてソフト・ハード面を強化する。「山歩きルート の開発」「ご祈祷グッズの充実」「ご当地ペットフード」等の開発などの施策を検討・検証することによ り、新規顧客の開拓、リピーター増を狙う。
23	厚木商工会議所 (神奈川県)	【牛乳宅配モデルを活用した津久井在来大豆の健康機能食品開発】 神奈川県が拡大を目指している、津久井在来大豆の利活用プロジェクト。小規模企業でも全国展開 が可能な成長ステージの構築と、「かながわブランド」に認定された津久井在来大豆厚木産の商品開 発と地域の宅配牛乳店の顧客を販路に解決を図る。
24	富士吉田商工会議所 (山梨県)	【富士山駅・富士信仰を活用した観光施策(サービス)開発事業】 国の内外から年間1,800万人を超える観光客が訪れる日本有数の国際観光地である富士山・富士五 湖地域の中心都市である富士吉田市の富士山駅と地域の資源である歴史・文化、自然環境等を活 用した富士山観光の拠点づくりを図る。
25	大垣商工会議所 (岐阜県)	【西美濃のおもてなしをテーマとする誘客促進事業】 愛知、三重、滋賀をターゲットとして、奥の細道むすびの地記念館、水門川舟下り、産業観光施設な どの地域資源を活用し、おもてなしツアーの開発とPR活動に取り組む。将来的には旅行会社による 商品化を目指す。
26	神岡商工会議所 (岐阜県)	【天空の里 奥飛騨山之村地域活性化事業】 山之村資源(トウモロコシ)を活用した新商品の開発と高付加価値化、および評価調査。
27	半田商工会議所 (愛知県)	【半田市から始める知多半島スマート回遊をめざしたおもてなし事業】 地場産業を活かした土産物を開発するとともに、観光拠点同士を結ぶ回遊コースを設定する。観光客 の回遊性を高める手段としてスマートフォンに代表されるICTの活用を視野に入れ事業を進める。
28	安城商工会議所 (愛知県)	【「願いごとが叶うまち」ブランド化プロジェクト】 地域資源の「願いごと」をブランド化し、観光客増加による経済効果等の活性化につなげるため、願掛 けグッズ&グルメの開発とパワースポットを活かした観光プランの確立に着手する。
29	四日市商工会議所 (三重県)	【産業都市四日市のイメージチェンジand アップ】 工場夜景クルーズ、四日市萬古焼、伊勢茶、その他地場産品、観光スポットまで様々な四日市の観 光資源を活用した学び・体験の要素を持った着地型観光商品の開発を行い、地域活性化を推進す る。
30	鳥羽商工会議所 (三重県)	【御食料理を食し力みちを巡る 御食国答志島の食と旅開発事業】 御食国答志島ならコレ!という料理と日帰り客も満足する観光メニューの開発。
31	大阪商工会議所 (大阪府)	【全国の食が集う、日本一の“食の拠点”大阪市中央卸売市場での賑わい飲食空間創出事業】 全国各地の食材が集まり、西日本一の規模を誇る“食の拠点”である大阪市中央卸売市場(本場)の 観光拠点化に向け、市場ならではの食が楽しめる賑わい飲食空間を実験的につくり、舟運等との連 携によって相乗的な観光魅力を創出する。
32	徳山商工会議所 (山口県)	【コンビナート夜景ツアーと周南名物ブランド商品の開発プロジェクト】 「日本一のコンビナート夜景ツアー」を目指して、他都市にはない魅力的なツアープランを提供すると ともに、特産品である「ふぐ」「はも」「たこ」弁当の開発およびコンビナートを冠とした和洋菓子の土産 品開発を行う。

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
33	高松商工会議所 (香川県)	【「高松盆栽ファン」深化プロジェクト】 「高松盆栽塾」創設のための研修プログラムや新商品開発を行い、新しい魅力・価値を創出するとともに、「讃岐の技・匠」体験プログラムの開発で盆栽ファンの拡大を図り、盆栽を高松の地域ブランドに育てる。
34	多度津商工会議所 (香川県)	【近代産業の歴史ある「たどつのみち」のブランド化事業】 港、鉄道、電力、銀行など商工業が発展した「たどつ」、こんぴら街道の海の玄関「たどつ」のみちのブランド化をはかり、歴史、文化、起業家精神を次世代へ継承するために、にぎわいづくりから活性化へと発展させることを目指す。
35	松山商工会議所 (愛媛県)	【松山・広島 広域周遊観光ルート「瀬戸内海= 海の道」開発事業】 「瀬戸内海」を広域に周遊・滞在する「新たな旅のスタイル」を創造するとともに、「瀬戸内海」をプラットフォームとしたニューツーリズムの定着化を促進し、「松山・広島」間の交流人口を拡大・地域活性化を実現する。
36	竹田商工会議所 (大分県)	【交流人口の増加をめざした魅力創出事業】 「海彦・山彦キリシタン街道創出事業」を機に平戸に習い、竹田検定システム導入を検討し、市民レベルでの観光客の受け入れ態勢をつくる。
37	宮崎商工会議所 (宮崎県)	【まちなか散策モデルコース開発事業】 まちなか情報の発信ツールとして「まちなか散策マップ」を作成し、NPO法人・交通事業者等と連携して、観光客向けのまちなか散策ツアーコースの開発と商品化を図る。

平成24年度「地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト」
 本体事業2年目 採択案件一覧

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
1	札幌商工会議所 (北海道)	【マンガ等コンテンツ活用による新観光創出事業】 札幌発のマンガやキャラクターコンテンツを地域資源とみなし、コラボレートすることで“札幌”の魅力を道内外の人にPRするツーリズムを実施。また、新たな観光ルートを創出することで将来的な商品化を目指す。
2	新井商工会議所 (新潟県)	【「水の里妙高へ」産業観光・体験型観光広域ルート開発プロジェクト】 「妙高山の恵み、きれいな水」は、妙高をはじめ上越地域一帯を潤している。これにより、当地から生まれた食品製造業群と妙高食材、更に上越の広域観光資源、季節、イベントを絡め広域観光ルート開発を行う。目途は平成27年春の新幹線開業。
3	加茂商工会議所 (新潟県)	【「小京都加茂～青海古道といにしへの小径(こみち)」観光開発プロジェクト】 小京都、自然、歴史、安全な食材等をテーマに「手軽な観光地・加茂」として、大型観光地にはない温かさや人と人との関わり、小さな町ならではの魅力を引き出し、観光立市を目指す。地元事業者も観光をビジネスに結びつけることで収益拡大を図る。
4	輪島商工会議所 (石川県)	【「ウェルカムto 輪島」新交通システムプロジェクト】 輪島市の観光資源・地域資源を活かした環境に配慮した次世代型交通という観光モデルの構築・開発を行うことで、交流人口の拡大と地域住民の利便性向上を図るとともに、地域の経済に貢献する総合的な発展を目標とする。
5	茅野商工会議所 (長野県)	【機能性そばによる観光誘客事業】 寒晒そばに見られる機能性を更に追求し、機械を使う新たな製法を確立させ機能性そばを通年販売し観光誘客を図る。さらに土産物など新たな商品展開により観光客の満足度アップを図り、蕎麦どころのイメージ作りに寄与する。
6	千曲商工会議所 (長野県)	【杏都「信州さらしな」プロジェクトフェーズⅡ】 日本一の「あんず」生産量を誇る千曲市において、あんずの高付加価値商品開発を行い、全国への展開を行う。
7	佐原商工会議所 (千葉県)	【江戸優り佐原の町並み空間を活用した暮らしぶりブランド化事業 パート2】 利根川の舟運で栄えた江戸優りの伝統を背景に、暮らしぶりを地域資源として活用し、より佐原のブランド力を高めるとともに地域商品に磨きをかけるための事業を実施した。
8	蒲郡商工会議所 (愛知県)	【どっきドキ! 新体験あそび100「オンパクin 蒲郡」】 「蒲郡らしい」「蒲郡ならではの」をキーワードとした体験プログラムを新たに101個造成し、どっきドキ! 新体験あそび100「オンパクin 蒲郡」として短期間に集中的に試行実施する。
9	安城商工会議所 (愛知県)	【ユメプラスチック製品「AnjoHearts」ブランド創出事業】 ペットボトルキャップの再生材から生まれた新たな地域資源「ユメプラスチック」を原材料にしたAnjoHearts ブランド製品を企画製造することで、独創的な新産業を創出し、自動車産業への過度の依存体質から脱却を図るものである。
10	桑名商工会議所 (三重県)	【くわな鋳物新商品開発事業】 平成23年度に引き続き、桑名商工会議所が事業主体として三重県鋳物工業協同組合・桑名市と協働して、アンケート・モニタリング調査等を活用して一般家庭用品を開発する。

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
11	京都商工会議所 (京都府)	【PROJECT KYO-TO事業】 京都が誇る技、意匠、素材を活用して、現代のニーズに合った売れる商品を創造するために、小集団への指導と個別の商品開発指導を行い、事業者の経営体質の改善と意識改革および、京都のものづくりにおけるブランド力向上を図る。
12	岸和田商工会議所 (大阪府)	【「岸和田」を楽しむ着地型観光推進プロジェクト】 民間主体の着地型観光事業をさらに加速させるため、岸和田の魅力を浜側から山側にも拡大して、全市的な魅力発信を行い、市内産業活性化に結びつける。
13	尼崎商工会議所 (兵庫県)	【尼食倶楽部プロジェクト(尼崎の食ブランド創設プロジェクト)】 尼崎のビジネス拠点としての魅力回復と商業活性化を軸とした地域経済の発展を目指し、あんかけチャンポンを活用した新たな観光メニューの開発に取り組み、“食の観光づくり”の推進により尼崎独自の食ブランドを創設する。
14	大和高田商工会議所 (奈良県)	【地域内ネットワークの活用による大和高田ブランド力の強化】 地域ブランドの育成・展開には地域のネットワークの力が不可欠。より良い製品開発に向け地域内ネットワークの力をフル活用するとともに、地域全体の力を結集し、大和高田ブランドを強化する。
15	岡山商工会議所 (岡山県)	【岡山県産果物を活用した新製品開発・販路開拓支援事業】 過年度実施してきた事業に新たな新製品を開発していくことで、更なる認知度の向上ならびに「フルーツ王国おかやま」というイメージの定着化を図る。この取り組みにより参加企業の収益の拡大や地域経済の活性化・観光振興に資する。
16	今治商工会議所 (愛媛県)	【今治地域特産の農水産物を活用した特産品開発プロジェクト】 今治市の地元名産の農林水産物(特に、鳥生レンコンとはだか麦等)を活用し、地元菓子メーカーおよび消費者との連携を通じて魅力ある新しいお菓子を開発し、地域特産品の全国展開へ向けた素地づくりを行う。
17	北九州商工会議所 (福岡県)	【楽しみながら学び、体験する新しい産業観光の推進】 新しい観光資源である工場見学や工場夜景ツアーなどを活かした産業観光の受け入れシステムの構築や、食や文化といった他の観光資源との組み合わせによる新たな観光コース作りを行い、観光客や交流人口の増加を図ることで、街が潤う仕組みを作る。

平成24年度「地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト」
地域の魅力でおもてなし事業3年目 採択案件一覧

No.	事業実施者 (都道府県)	実施概要
1	帯広商工会議所 (北海道)	【「癒しの地・十勝」再認識・発信事業「とちかち癒(ゆ)とりフェスタシーズン2012」】 「とちかち癒とりフェスタ」とは、地域の資源(観光・環境・健康)を「癒し」というキーワードで束ね、集客型の販路開拓および普及を行う活動をいう。地元の人が地域の魅力を再認識し、来訪者に対して十勝の暮らしぶりを伝えていく。
2	小千谷商工会議所 (新潟県)	【越後ちぢみの里 おぢやこいこい博事業】 お祭りの前後2ヶ月間、ユネスコ世界無形文化遺産「小千谷縮」を活用した事業を核とし、他の地域資源を織り交ぜながら交流人口の増加と地場産業の振興を目指して事業展開を図っていく。
3	高岡商工会議所 (富山県)	【道の駅による「食のブランド化」と「体験滞在型観光」推進事業】 食とものづくりの地域資源を活かした魅力ある商品・サービス・体験メニューを、誰もが訪れる道の駅を核にして、県外からの来訪者に提供するとともに「体験滞在型観光」を推進し、交流人口の増大を図り地域の活性化を目指す。
4	諏訪商工会議所 (長野県)	【諏訪湖周まちじゅう芸術祭】 行政区の枠を越え、周遊観光の切り口をつなぎ、諏訪湖周に点在する15の美術館・博物館を軸に、アートを中心とした体験交流プログラムの充実を図り、諏訪地域での滞在時間を延ばし、滞在型観光の創造を行う。
5	大阪商工会議所 (大阪府)	【大阪産(もん)の魅力発信による、食の都・大阪のフードツーリズム】 大阪の多様な食資源「大阪産」を、首都圏等でPRして“本場での味わい”への関心を高め、大阪を代表する都市イメージである「食都」と「水都」の魅力を組み合わせたプログラムを秋に束ねて発信することで、大阪への誘客につなげる。
6	府中商工会議所 (広島県)	【地場産業を核にした「府中玉手箱～ものづくり博覧会～」事業】 「地場産業」を核に、「備後府中焼き」「恋しき」「石州街道出口通り」等の多様な地域資源を一体的に観光資源として活用することにより、府中市を広く全国にPRするとともに、多くの観光客を誘致する体制をつくる。
7	延岡商工会議所 (宮崎県)	【ひむかのくに えんぱく 2012 ～延岡からはじまる縁めぐり物語～】 延岡市および周辺地域が持つ独特の資源、神話や自然、暮らし、人情や歴史といった資源を活かし、秋冬をメイン期間とし地域全体を会場に縁巡りの交流プログラムを実施。その期間前後にも積極的にツアーを展開し、事業効果を高めていく。